

県民 だより

2005 11月号

編集・発行 栃木県広報課
平成17年11月15日発行

〒320-8501 宇都宮市瑞田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 2,016,074人(前月比+750人、前年同月比+1,636人)
◎男1,001,426人 ◎女1,014,648人
◎世帯数716,199世帯 (9月1日現在)

ご利用ください

とちぎ子ども 救急電話相談

☎028-600-0099
(ご家庭の電話がプッシュ回線の場合は、局番なしの#8000)

- お子さんが急な病気やけがで心配なとき、お電話ください。経験豊富な看護師がアドバイスします
- 相談時間 毎日・午後7時～午後11時
- ◎ 問合せ 県医事厚生課 ☎028-623-3157

【目次】

1 福祉サービス	2 県からのお知らせ	3 県政トピックス
3 第三者評価制度	3 知事にアクセス	4 文化情報
ほか		



友遊いすみクラブの皆さん(宇都宮市)/クラブの会員である地域の子もたちが集まり、自由な雰囲気の中でのびのびとソフトバレーボールを楽しんでいます。ほかに、フットサルや太極拳なども人気。会員数は1,000名を超え、定期的に活動する「総合型地域スポーツクラブ」です

だれでも、いつでも、いつまでも、 スポーツを楽しもう

生涯にわたって スポーツを

県の調査によると、成人の方が週一回以上スポーツを実施する割合は、約三割です。スポーツをしなかった方の主な理由は「仕事や家事の忙しさ」や「機会の少なさ」でした。また、子どもたちについても、スポーツをする子としない子の二極化傾向が指摘されています。

県は、健康で活力に満ちた生活を送るために、生涯にわたってスポーツに親しむことが大切と考えています。そこで、県民の皆さんがスポーツをする機会を増やしていただけるように、身近な場所ですべてスポーツができる環境づくりをすすめています。

総合型地域 スポーツクラブ

県内では、地域の皆さんが主体となって運営し、活動する「総合型地域スポーツクラブ」が増えつつあります。地域の皆さんがクラブの会員となつて、公立の体育館などを拠点に、好きなスポーツを自由に楽しんでいます。

足利市に昨年七月に設立された「みくりやスポーツクラブ」。自分の健康状態に合わせて運動できる軽トラニング教室や、キッズ体操などが人気です。「ここは気軽に遊びに来て、楽しむことがモットー」と話

地域でスポーツを盛り上げよう

栃木県スポーツ振興審議会委員の方にお話をうかがいました

地域には、スポーツが好きなお子もや、スポーツをやりたいけれど機会が少ない大人がたくさんいます。生活の一部として、身近で気軽にスポーツを取り入れることができる環境づくりが必要です。



くろ 黒後 洋さん
(宇都宮大学)

「総合型地域スポーツクラブ」は、子どもから大人まで、興味や体力に応じて、さまざまな種目を体験できることが魅力です。活動しているクラブの中には、スポーツはもちろん、陶芸などの文化的な活動をしているところもあります。大がかりなものではなく、それぞれの地域のニーズに合わせたクラブを、どんどん発足させて欲しいと思います。

スポーツは選手だけではなく、多くの人がかかわって盛り上げていくもの。例えば観戦することも、スポーツ振興の一つです。ひとりでも多くの県民の皆さんと一緒に、栃木県のスポーツを大いに盛り上げていきたいと思っています。

するのは、事務局の牧島さん。地域に開かれたクラブにするため、元オリンピック選手を講師に子ども向けソフトバレー教室を行ったり、自治会や体育協会などと連携したイベントを行ったりしています。その評判が口コミで広がり、現在の会員は四百七十七名。地域の皆さんによるスポーツを通じた交流が行われています。

現在、県内には十四の「総合型地域スポーツクラブ」が設立され、合わせて一万名以上の皆さんが活動しています。



牧島 久子さん

「問合せ」県スポーツ振興課
☎028-623-3416

います。今後も県では、クラブの中心となる人材の育成や情報提供などを行い、総合型地域スポーツクラブの活動を支援していきます。興味のある方は、クラブの紹介や設立のアドバイスをいたしますので、ぜひお問い合わせください。



みくりやスポーツクラブの皆さん。通い続けている方からは「スリムになって、病院に通う回数も減りました」という声も

より良い福祉サービスのために 第三者評価制度が始まりました

県内には、保育所や障害者施設、老人ホームなど二十以上の社会福祉施設があります。私たちは、こうした施設のさまざまな福祉サービスを利用して、福祉サービスの質の向上を図るため、「第三者評価制度」が本格的に始まりました。



「子どものお世話をするときは、利用する子どもの視点を忘れないようにしています」と話す保育士さん(つくし保育園)

福祉制度の 移り変わり

戦後の福祉制度は、戦争の被害にあわれた方などへの保護、救済を中心に始まりました。しかし近年では、少子・高齢化の進行や、介護環境の変化に伴い、特定な方へのサービスではなく、広く国民全体の生活の安定を支える役割を果たして

り、福祉サービスの利用者は増加しています。

さらに、介護保険制度や障害者支援費制度が始まったことに伴い、福祉サービスの利用手続きも「行政が利用するサービス」から「利用者が自らサービスを選択する契約制度」へと変わってきています。

第三者評価制度とは

県では、身近な社会福祉施設のサービスの質の向上を図るため「第三者評価制度」を開始しました。これは、指定の研修を修了した評価調査者が、書類や見学・面接などで施設を専門的・客観的に評価し、それを広く公表する新しい制度。

利用者は、公表された情報をもとに、自分のニーズに適した福祉サービスを選択できるようになります。施設側はその評価をサービスの改善に役立てていきます。

第三者評価制度をすすめる窓口となる「とちぎ福祉サービス第三者評価推進機

「広く普及していくことが、サービスの向上へ」

施設や組織のサービスを第三者が評価するというシステムは、既に病院や大学などで全国的に行われています。より良いサービスを提供するためには、外部の視点から客観的に評価することが大切と認識されてきたことが背景にあります。福祉サービスについても数年前から始めた都府県がありますが、県内にはこうした評価制度はありませんでした。



とちぎ福祉サービス
第三者評価推進機構
委員長
鈴木 勇一さん

この制度の柱は、「福祉サービスの質の向上」と「利用者への情報の提供」です。施設事業者はこれを利用してさらなる質の向上を目指していただきたいと思います。また、施設を利用したい県民の方々にとっては、施設の利用などに利用できる情報が豊かになります。「評価を受けることが当たり前」になることで、全体のサービスの底上げが期待できますが、制度はスタートしたばかりです。まず広くこの制度を知っていただきたいと思います。



評価調査者の研修を実施し、公正・中立な視点で判断できるよう努めています

構」では、モデル事業などの結果を踏まえ、この制度の評価項目や方法を検討し、評価調査者の研修を実施してきました。県では、一つでも多くの施設に第三者評価制度を利用していただくよう、普及に努めていきます。



第三者評価モデル事業を受けて

つくし 保育園 矢板市

つくし保育園では、施設の移転にあたり、新たな気持ちでより良い保育園にしていこうと、このモデル事業に応募しました。

「最初は評価を受けることに不安を持つ職員もいましたが、実際に受けてみて本当に参考になりました」と話すのは村越園長。評価ではまず、すべての職員がそれぞれの立場で自己評価し、園内で話し合い、意見をまとめます。その段階で既にさまざまな問題点に気付いたそうです。

村越園長は「自分たちが評価されるのは怖いものですが、良い所は自分たちの特徴として、悪い所は反省点として改善することで、全体のレベルアップにつながると思います」とその効果を話してくれました。



いつでも理念を忘れず行動できるよう、園内のいたるところに基本理念を掲示

特別養 老人ホーム ハーモニー 鹿沼市

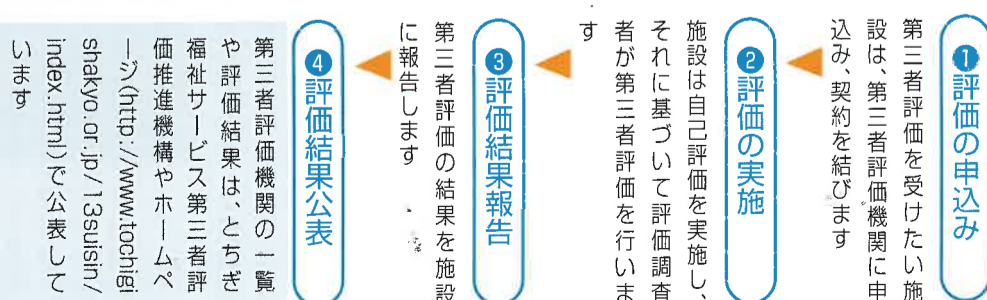
ハーモニーでは、施設運営と入所者の処遇について評価を受けました。施設長の関口さんは「外部から評価される時代が来ると感じ、早くから対応していくことが必要だと思いました。今、施設に求められているものは何か、といった情報を得られる機会とも感じました」と話します。

第三者評価は行政監査とは違い、より良いサービスをするために、どういった努力をしているかを見る前向きなもの。「基本理念の明文化や事業計画について高い評価をいただき、励みになりました。評価調査者の方は、一緒に良い施設を目指しましょう、という雰囲気でした」と関口施設長は感想を話します。



家庭的な雰囲気の中、利用者に合わせたサービスを提供しています

第三者評価制度の流れ



とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構
(栃木県社会福祉協議会内)
☎028-622-7555

福祉サービスの苦情受付

栃木県運営適正化委員会では、福祉サービスに関する苦情をお聞きしています。施設へ相談しても「納得がいけない」「話を聞いてもらえない」「直接話す勇気がない」などの悩みがありましたら、ご相談ください。

栃木県運営適正化委員会
(栃木県社会福祉協議会内)
☎028-622-2941

【問合せ】県医事厚生課

☎028-623-3046

募集・催し・講座

とちぎ教育振興ビジョン(二期計画・仮称)案に対するご意見を募集中

●県の新たな教育計画案(H18~22)をまとめました。計画案は県情報公開相談室、県民センター、総合教育センター、県ホームページでご覧になれます。●ご意見は、住所・氏名・電話番号を記載し、郵送・FAX・Eメールで。●募集締切 12/7(水)
◎あて先・問合せ 〒320-8501 県教育委員会総務課 ☎028-623-3360 FAX028-623-3356
E)soumu@pref.tochigi.jp

「とちぎ未来債」明日より募集開始!

●県民の皆さんを対象とした県債「とちぎ未来債」を発行します。●10万円から最高300万円まで10万円単位で購入できます。●申込期間 11/16(水)~25(金)※先着50億円で受付は終了。●取扱会社 銀行(足利・栃木)、証券会社(大和・日興コーディアル・野村・宇都宮・新光・みずほインベスターズ・三菱UFJ)の県内各店舗。●購入方法など詳細は取扱会社の窓口へお問い合わせください。

とちぎ元気フォーラム開催 県民と対話集会に参加しよう

●12/17(土)午後1時30分~ ●県南体育館(小山市) ●応募資格 県内に在住・通勤・通学する方 ●応募方法 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業(学校名)・託児希望の有

無を、12/5(月)までに電話・はがき・FAXで◎あて先・問合せ 〒320-8501 県広報課 ☎028-623-2158 FAX028-623-2160

「とちぎ花フェスタ2006inかめま」に出品しませんか

●とちぎ花フェスタ2006inかめま[2/17(金)~19(日)・鹿沼市花木センター]会場に展示する作品を募集 ●募集部門(点数) ①フラワーディスプレイ飾花(13点)②フラワーアレンジメント(40点)③生け花(40点) ●フラワーディスプレイ、フラワーアレンジメントはコンテストも実施 ●申込締切 11/25(金) ●県生産振興課 ☎028-623-2329

障害者文化祭 「カルフルとちぎ2005こころのつどい」

●11/23(水)・24(木) ●午前10時~午後4時(24日は3時まで) ●宇都宮市文化会館ほか ●杉田あきひろファミリーコンサート(23日午後0時15分~)、芸能発表、製作品販売など ●県障害福祉課 ☎028-623-3492

ミュージカル「天狗のかくれ里」

●12/8(木)午後6時30分~8時40分 ●那須塩原市黒磯文化会館 ●都会の小学生在が天狗と出会う物語 ●大人3,000円、子ども2,000円 ●県環境政策課 ☎028-623-3187

農大祭~魅せます!我らの集大成!~

●11/26(土)・27(日) ●午前10時~午後3時(27日は2時まで) ●県農業大学校(宇都宮

市) ●学生の研究発表の展示、新鮮な野菜・果物・花の販売など ●当日直接会場へ ●同校 ☎028-667-0711

就職基礎能力速成講座

●12/6(火)~16(金)9日間、午前9時30分~午後4時 ●宇都宮市東コミュニティセンター ●ビジネスマナーや面接の受け方など ●対象 35歳未満の方(学生は除く) ●定員 先着20名 ●受講無料 ●申込締切 11/30(水) ●とちぎ就職支援センター ☎028-623-3226

協働で拓くとちぎの未来フォーラム

●12/4(日)午前9時30分~午後4時 ●パルティ(宇都宮市) ●講演「協働で人づくりまちづくり とちぎのあした」、分科会、協働パネル、団体PRコーナーなど ●入場無料 ●県文化振興課 ☎028-623-3422

高齢者の就業のための講習会

●県シルバー人材センター連合会 ☎028-627-1179 ●対象 60歳代前半の求職者 ●受講無料(テキスト代別途) ●定員 各20名 ●ホテル旅館業務講習 ●12/5(月)~9(金)・日光市 ●申込締切 11/25(金) ●パソコン(表計算)実務講習 ●12/5(月)~16(金)・鹿沼市 ●申込締切 11/25(金) ●警備業務技能講習 ●1/23(月)~31(火)・芳賀町 ●申込締切 1/13(金) ●ビルメンテナンス講習 ●2/6(月)~10(金)・今市市 ●申込締切 1/27(金)

試験・案内

県職員(看護師)採用試験

●採用予定人員 20名程度 ●試験日 12/2(金)・16(金) ●会場 県自治研修所(宇都宮市) ●応募資格 昭和48年4月2日以降に生まれた方など ●願書受付 11/24(木)まで ●県医事厚生課 ☎028-623-3158

県のキャッチフレーズが決まりました!

いいひと いいこと つぎつぎ "とちぎ"

●県民の皆さんと共にすすめる "とちぎ"づくりの合言葉として、県民日より4月号でキャッチフレーズを募集したところ、504作品の応募をいただき、ありがとうございました。今後、次期総合計画の副題や各種キャンペーンなどに、広く活用する予定です。なお、このキャッチフレーズには、次の意味が込められています ● **いいひと**とは、誠実・勤勉で人柄が良く人情味のある県民性や、未来に向かって挑戦していく人 ● **いいこと**とは、住む人や訪れる人にとっても、うれしくなること、楽しくなること、感動すること ● **つぎつぎ**とは、いつも何かに挑戦し続ける前向きな姿勢や躍動感、次々と新しいものを生み出す創造力、"とちぎ"の魅力を県内外に発信していく情報発信力、未来に対する期待感 ● 県企画調整課 ☎028-623-2206



少年自然の家・青年の家

◎冬の海を体験しよう ●1/14(土)~15(日) ●1/21(土)~22(日) ●1/28(土)~29(日)、1泊2日 ●干物づくりなど ●定員 各回先着15組 ●参加費 大人4,910円ほか ●申込締切 ①12/7(水) ●12/14(水) ●12/21(水) ●とちぎ海浜自然の家(茨城県銚田市) ☎0291-37-4004

◎そば打ち教室(2日間コース) ●12/9(金)・16(金) ●12/10(土)・17(土) ●午前9時~午後2時 ●定員 各回先着23名 ●参加費 3,000円 ●申込締切 12/1(木) ●唐沢青年の家 ☎0283-22-2543 ●親子で楽しむそば打ち教室 12/17(土) ●午前10時~午後3時 ●そば打ちとミニ門松づくり ●対象 小・中学生とその保護者 ●定員 10組(抽選) ●参加費 1,800円 ●申込締切 12/8(木) ●芳賀青年の家 ☎0285-72-2273 ●とびっきり!門松づくり 12/17(土) ●午前10時~午後4時 ●対象 小・中学生

とその保護者 ●定員 先着15組 ●参加費 1組1,200円 ●申込締切 11/29(火) ●太平少年自然の家 ☎0282-24-8551 ●正月飾りをつくろう 12/17(土) ●午前9時~11時30分 ●対象 2名以上で参加できる方 ●定員 先着20組 ●参加費 1組1,500円 ●申込締切 12/9(金) ●南那須少年自然の家 ☎0287-88-9341 ●自然の家まつり~早くこいこいお正月 12/18(日) ●午前9時30分~午後2時 ●高原山少年自然の家(矢板市) ●ミニ門松作りなど ●参加無料(材料費別途) ●当日直接会場へ ●同自然の家 ☎0287-44-1581

県民の森「森の集い」

◎きのこづくり体験(2日間コース) ●12/3(土)午前9時30分~正午 ●12/11(日)午前9時30分~午後2時30分 ●定員 先着40名 ●参加無料 ●材料採取&リースづくり 12/11(日) ●午前9時30分~午後3時 ●クリスマス・リースづくり ●定員 先着30名 ●参加無料 ●森の素材で楽器づくり 12/23(金) ●午前9時30分~正午 ●竹や木で笛やカスタネットなどを作ろう ●定員 先着30名 ●参加無料 ●同管理事務所 ☎0287-43-0479

知事にアクセス

テーマ

のりしろ

のりしろ

のりしろ

◎県政に関するご提案などをこの用紙でお寄せください。また、インターネットでも受け付けています。

〒□□□-□□□□

ご住所

お名前 男・女 歳

ご職業 ()

のりしろ

のりしろ

のりしろ



あなたの「声」を聴かせてください

県民の皆さまからのご意見・ご提案をお聴きする「知事にアクセス」を実施しております。


をお寄せください。ご提案は私が読ませていただき、今後の県政に反映させていただきます。皆さまからの御便りを待ちしております。 栃木県知事 福田 富一

◇問合せ 県広報課 ☎028-623-2158

ちょうちよ
蝶々からの
花の便り

スジグロシロチョウと
ヤマゼリ

VOL.8



私はスジグロシロチョウ。
森のそばや涼しいところにいます。
3月下旬から11月くらいまで
年に5回も世代交代するんですよ。
私の何よりの特徴は、
甘いクリームのような匂いがあること。
今日はヤマゼリを食卓にしているけど、
きっと私の方がうんと美白よ。
幼虫時代にはいろいろな
アブラナ科の植物を食べます。

文化情報

子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567
☎028-659-5555 月・第4木曜日

●プラネタリウム特別番組「星と音楽のひととき」
●11/19(土)・20(日) ●午後3時～3時50分 ●スターライト・シネマ～懐かしの映画音楽特集～映画の名曲を聴きながら、星空に思いをはせてみませんか ●CDによる演奏です ●観覧券が必要です

『サウンド・オブ・サイレンス』
『ネバーエンディング・ストーリーのテーマ』
『スタンド・バイ・ミー』

文化情報

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7
☎028-621-3566 月曜日

●ゲオルク・パゼリッツ展～絵画の凱歌～
●12/18(日)まで ●絵画の歴史と運命を転倒させた現代絵画の最高峰ゲオルク・パゼリッツ(1938年ドイツ生まれ)の作品約80点による日本初の本格個展
●ヨーゼフ・ボイスと愉快な仲間たち～私はウィークエンドなんて知らない～(同時開催)

ゲオルク・パゼリッツ
「緑-赤」1966年




文化情報

県立博物館

宇都宮市睦町2-2
☎028-634-1312 月曜日

●テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どもの暮らし」
●11/26(土)～3/31(金)
●昭和初期の暮らしのようすを紹介 ●講座「石器を知ろう」11/26(土)午後1時30分～3時 ●石器はどのようにつくられ使われたのか ●対象 子どもとその保護者 ●定員 40名 ●参加無料 ●軍手持参 ●電話で申込み ●映画会「ミッキーマウス」ほか ●11/27(日)午後2時～3時 ●参加無料




文化情報

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8
☎028-643-1010

●おでかけカルミネtheよしもとinとちぎ ●11/30(水)午後6時30分開演 ●出演 インパルス、キングコングほか ●指定席3,500円
●ソノコ・マージュ ギターコンサート ●12/4(日)午後2時開演 ●国際的フォルクローレ奏者(本県出身)のギターと歌 ●指定席3,000円
●諏訪内晶子 J.S.バッハ・プロジェクト2005 ●12/15(木)午後7時開演 ●バッハ「ヴァイオリン協奏曲第2番」ほか ●S席7,000円～C席4,000円(学生2,000円)



懇談会では福田知事が「県の魅力や実力を各方面にPRしていただきたい」とあいさつ



懇談会では福田知事が「県の魅力や実力を各方面にPRしていただきたい」とあいさつ

懇談会を開催

県は、各界で活躍されている本県ゆかりの方、二十八名を「とちぎ特使」として、委嘱しました。十一月四日には、宇都宮市内で第一回目の懇談会を開催しました。

今後、とちぎ特使の皆さんには、県の事業への参加や県政への助言、提言などにご協力いただきます。

車いすバスケットボールでは、白熱したゲームが行われました



車いすバスケットボールでは、白熱したゲームが行われました

創立百周年記念碑の除幕式のようす。11/26(土)・27(日)には、毎年恒例の農大祭を開催



県の出来事をご紹介します

1 第一回県障害者スポーツ大会を開催

十月八日、宇都宮市の県総合運動公園などで第一回県障害者スポーツ大会が開催されました。この大会は、昨年まで別々に開催されてきた「県身体障害者スポーツ大会」と、知的障害者の「県ゆゆうあいピック大会」を統合したものです。当日は、選手や関係者など約四千四百名が参加し、陸上競技や卓球、水泳などの競技で熱戦を繰り広げました。

2 県農業大学校が創立百周年を迎えました

十月十四日県農業大学校で、創立百周年の記念式典が開催されました。本校は、農業に関する高度な専門知識や技術を身に付け、次代を担う青年農業者を育成してきました。一万名以上の卒業生が、地域の中核的な農業者や指導者として、幅広く活躍されています。本校では、農業をこれから始めようとする方や一般の方などを対象とした研修も行っています。

information とちぎテレビ

県の広報番組

クローズアップとちぎ ●毎週日曜9:00～9:30 ●(再)月曜22:00～22:30

11月20日 美しい景観づくり～マロニエ建築・景観賞～
27日 家庭教育を応援します
12月4日 男女が共に輝く社会を目指して
11日 不法投棄防止対策

なるほど!とちぎ ●毎週土曜9:00～9:30 ●(再)日曜20:00～20:30

11月19日 スポーツ選手強化策について
26日 広げよう!心の輪!!
12月3日 みんなで森を育てましょう!
10日 飲酒運転の追放

ご意見募集!

「とちぎ県民だより」へのご感想をお寄せください。ご意見をいただいた方の中から抽選で20名の方に写真集「とちぎ春夏秋冬」を差し上げます。官製ハガキに住所・氏名・年齢・ご意見を記入の上、次のあて先までお送りください。

〒320-8501 県広報課
「とちぎ県民だより」係

「知事にアクセス」はインターネットでも受け付けていますので、ご利用ください
県のホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.jp/>

のりしろ

日光杉並木街道
写真コンテスト作品募集
～日光杉並木オーナー制度10周年記念～

●テーマ「日光杉並木街道の四季」
◇日光杉並木を題材に、撮影された作品を募集します。ふるってご応募ください

●応募規定
◇サイズは、カラープリントの四つ切、ワイド四つ切。デジタル作品はA4版で提出してください
◇応募は未発表のもので、1人5点まで
◇作品の返却は致しません
●グランプリには20万円、副賞あり
●応募締切 平成18年9月29日(金)
●詳しくはホームページで(<http://www.tochigi-c.ed.jp/bunkazai/index.htm>)
●問合せ 県文化財課 ☎028-623-3460

空撮による日光杉並木街道

のりしろ

◇問合せ 県広報課 ☎028-623-2158

料金受取人払

宇都宮中央局 認

561

差出有効期間
平成18年3月31日まで

3 2 0 8 7 9 0
0 0 1

宇都宮市埴田一丁目一番二〇号

栃木県知事
福田 富一行

切手をはらずに
お出しください

※この用紙は「知事にアクセス」の専用封書です

のりしろ